



ANEMAN 2 User Manual

2025.04.18



INTRODUCTION.....	3
ANEMAN 2 CONCEPTS.....	4
THE ANEMAN AGENT.....	5
ANEMAN AGENT MENU.....	6
THE ANEMAN USER INTERFACE.....	8
WEB APP SETTINGS.....	9
THE WORLD VIEW.....	10
MOVING.....	10
SUBNETS.....	10
CONTEXTUAL MENU.....	11
ZOOM.....	11
CONNECTIONS.....	11
WORLD VIEW INTERFACES INDICATORS.....	12
THE DEVICES VIEW.....	13
GENERAL MENU.....	13
DEVICES.....	15
DEVICES VIEW INTERFACES INDICATORS.....	16
ZONES.....	17
THE ZONE MENU.....	18
ZONE SETTINGS.....	18
THE MATRIX VIEW.....	20
THE INFO BOX.....	20
MOVING.....	20
COLLAPSING IOS.....	21
CONTEXTUAL INFORMATION.....	21
CONNECTION TYPE.....	22
ADDING AND REMOVING CONNECTIONS.....	23
COLOR CODING OF CONNECTION POINTS.....	23
STREAMS.....	23
CONNECTION STATUS AND ERROR MESSAGES.....	23
OUTPUT STATUS AND RECEIVER DELETE.....	24
MANAGING EXISTING STREAMS.....	24
NEUMANN MT 48 LIMITATION.....	24
THE NETWORK STATUS.....	25
ADVANCED OPERATIONS.....	26
ADVANCED ANEMAN SERVER CONFIGURATION.....	27
TWO STUDIOS WITH INDEPENDENT AES67 NETWORKS AND DEVICES.....	27
TWO STUDIOS SHARING COMMON AES67 NETWORK AND DEVICES.....	28
SINGLE ANEMAN SERVER TO CONTROL SEVERAL STUDIOS.....	29
DISCOVERY FILTERS.....	30
PLUGINS.....	30
FILES PATH REFERENCES.....	31
CONFIGURATION FILE.....	32





INTRODUCTION

WHAT IS ANEMAN ?

Merging TechnologiesのAudio NEtwork MANagerは、デバイスの検出、接続の管理、ネットワークの監視を可能にするオーディオネットワークツールです。ANEMANは オープンアーキテクチャを採用しており、サードパーティが独自のモジュール(プロキシ)を追加することで、独自のデバイスをサポートすることができます。

このリリースでは、以下のデバイスをサポートしています。

- HORUS, HAPI, ANUBIS. MERGING+NADAC, NADAC+PLAYER オーディオデバイスの統合
- MassCore, VAD (macOS ドライバ), MAD (Windows ASIO ドライバ), ALSA ドライバ
- Merging ZMAN ベースのデバイス (ANEMAN v1.2.2 以降)
- Neumann MT 48
- Direct Out デバイス
- Ross Bach モジュールベースのデバイス (例: Neumann AoIP スピーカーなど)
- Archwave's uNet モジュールベースのデバイス (例: Genelec 8430A, WBS PreMo など)**
- Stage Tech RIF67 **

(**: 適切なプロキシを取得するには、aneman@merging.com までお問い合わせください)

SYSTEM REQUIREMENTS

ANEMANは、Windows 10 (64ビット)、Windows 11 (64ビット)、およびMac OS Ventura、Sonoma、Sequoia以降で動作確認されています。

最小要件:

2GHz以上のCPU、4GBのRAM、200MBのディスク空き容量

ネットワーク接続 (対応デバイスは同一ネットワーク上にある必要があります)

Webブラウザ (Google Chromeを推奨)

注意: ANEMAN との接続はネットワークに副作用を引き起こし、一時的にストリームが中断される可能性があります。





ANEMAN 2 CONCEPTS

ANEMAN 2 はクライアント/サーバーアーキテクチャに基づいています。ANEMAN サーバーはネットワーク上の 1 台のコンピューターで実行され、1 台または複数の ANEMAN Web アプリケーション ユーザー インターフェイスが Web ブラウザーを介してサーバーにアクセスします。

ANEMAN エージェントは、ネットワーク上の必要な数のコンピューターで起動され、これらのエージェントは、ネットワーク上の 1 台のコンピューターで 1 台の ANEMAN サーバーをマスターモードで実行するようにします。そこから、複数の Web アプリケーション ユーザー インターフェイスが、ネットワーク経由で、またはサーバーを実行している同じコンピューター上でローカルに、単一の ANEMAN サーバーにアクセスできます。

ANEMAN エージェントは次の処理を行います。

- ANEMAN サーバーの起動時に接続または起動する。
- ANEMAN サーバーの起動を管理するには、マスター、スレーブ、ハイブリッドの 3 つのモードがあります。詳細は以下をご覧ください。
- 現在実行中のコンピューターで Web アプリケーションを開き、ネットワーク上の適切な ANEMAN サーバーに接続する。
- さまざまな設定/オプションを提供する。





THE ANEMAN AGENT

ANEMANエージェントをインストールしたら、ANEMANアプリケーションを起動してください。ANEMANエージェントはタスクバーに表示されます。

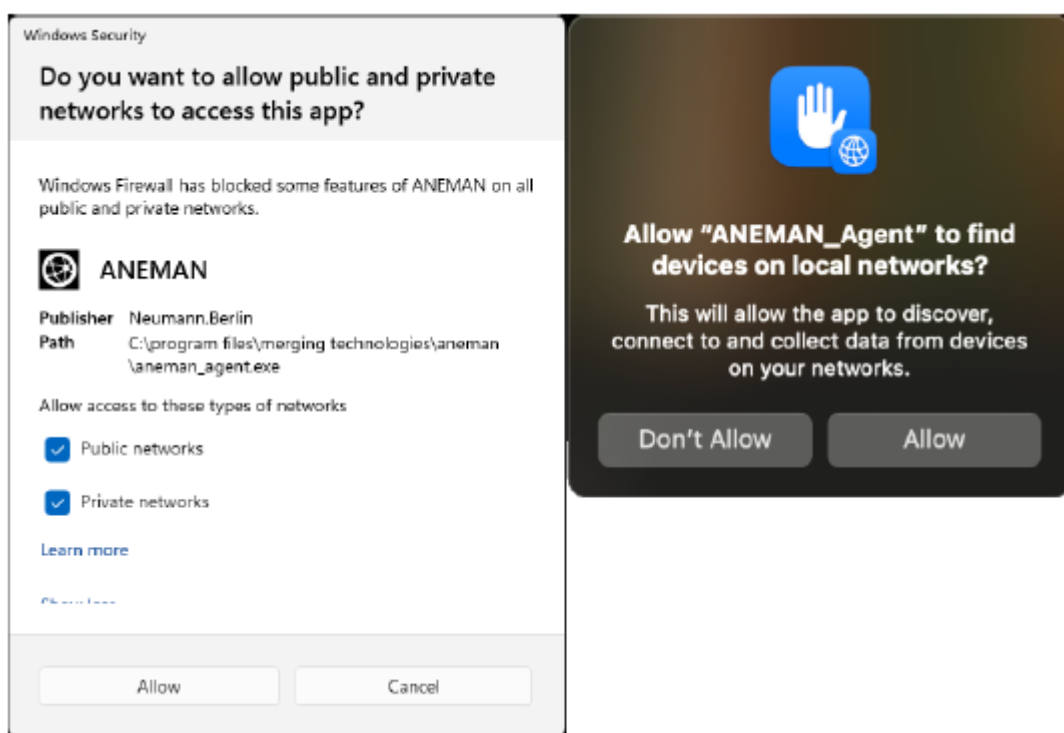


ア
ト

Hybrid モードのデフォルトでは、エージェントはネットワーク上の既存のANEMANサーバーを検索し、見つからない場合はサーバーを起動します(他のエージェントモードについては以下を参照してください)。

その後、エージェントは、そのANEMANサーバー上のデフォルトブラウザ(Google Chromeを推奨)でANEMAN Webアプリを開きます。

重要: エージェントを初めて起動すると、WindowsおよびMacOSでは、ネットワーク上でANEMANを許可するように求められます。ネットワークへのアクセスを許可してください。

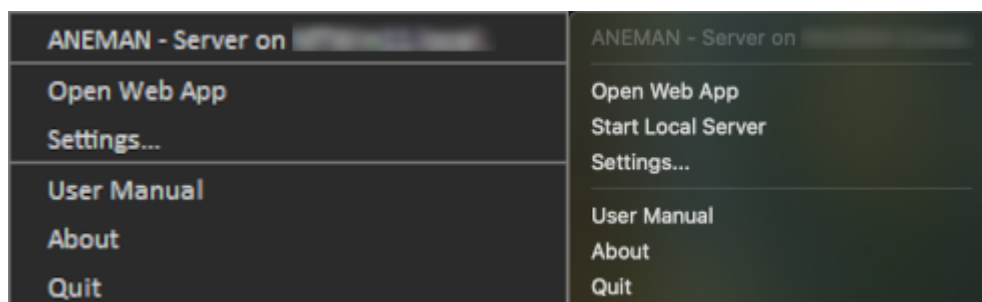


ANEMANエージェントは、ANEMANウェブアプリケーションの表示と設定に使用できます。ネットワーク内にはサーバーが1台のみ必要です。





ANEMAN AGENT MENU



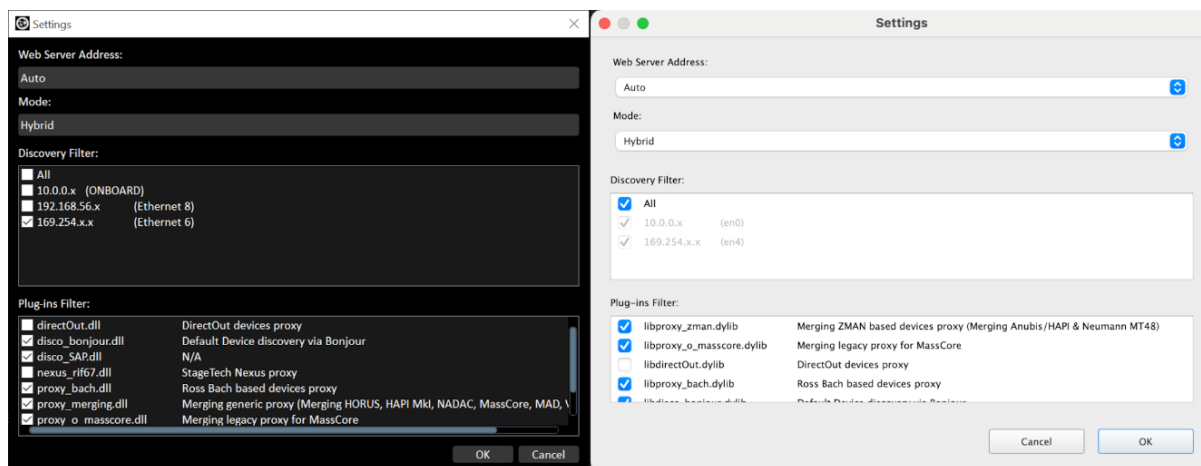
ANEMAN Server: 現在の ANEMAN サーバー名

No Server Running: 実行中のサーバーがありません。サーバーが停止しているか、実行モードがスレーブに設定されているかに関係なく、ANEMAN はサーバーを見つけることができません。

Open Web App: デフォルトのブラウザで ANEMAN アプリを開きます。

Start Local Server (Hybrid or Master mode only): サーバーが既に存在する場合や、既存のサーバーが停止している場合でも、サーバーを起動します。

Settings





Web Server Address

ANEMAN サーバーを実行しているコンピュータに複数のネットワークアダプタが存在する場合、Web サーバーの IP アドレスを設定できます。これにより、AolP ネットワーク以外のネットワークから ANEMAN サーバーにアクセスできるようになります。これは推奨される方法です。

Mode: Master - Slave - Hybrid (default)

- **Master:** エージェントの起動時に、エージェントが実行しているコンピュータ上で常に ANEMAN サーバーを起動します。
-
- **Slave:** エージェントの起動時に、ネットワーク上で既存のサーバーを検索します。サーバーが見つからない場合は、ANEMAN サーバーを起動しません。
-
- **Hybrid (default):** エージェントの起動時に、ネットワーク上で既存の ANEMAN サーバーを検索します。サーバーが見つからない場合は、サーバーを起動します。

Mode を変更するには、エージェントを終了して再起動する必要があります。

Discovery Filter: (コンピューターがANEMANサーバーをホストしている場合のみ有効) デバイス検出に使用するネットワークインターフェースを選択できます (デフォルト: All)。

Plug-ins Filter: Enable - Disable Aneman plug-ins.

注: Stagetech NexusおよびArchwave uNetプラグインはオンデマンドでのみ利用可能です。
aneman@merging.comまでお問い合わせください。

User Manual: ANEMANユーザーマニュアルへのリンク

About: ANEMANのバージョン

Quit: エージェントを停止します。このコンピューターでANEMANサーバーが実行中の場合は、ANEMANサーバーも停止します。





THE ANEMAN USER INTERFACE

ANEMANのWebアプリのユーザーインターフェースは、4つのメインパネルで構成されています。

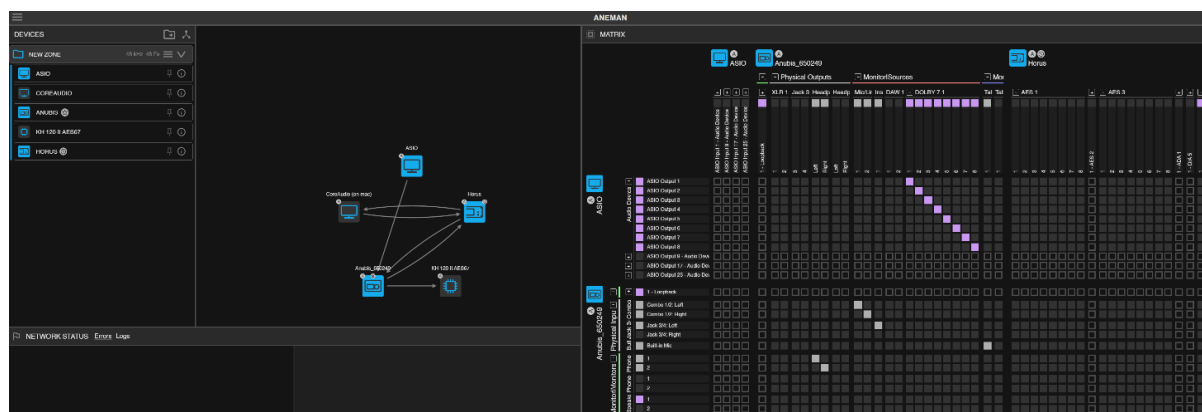
DEVICES VIEW (左上): このビューは、ネットワーク上のデバイスと基本情報を一覧表示するテーブルで、ユーザーはさまざまなゾーンを管理できます。

WORLD VIEW (中央上): このビューでは、デバイスの検出と配置が可能です。

MATRIX VIEW (右): 選択したデバイスがマトリックスビューに表示され、接続の表示、追加、削除、監視を行うことができます。

NETWORK STATUS VIEW (左下): ログタブには、エラーとネットワークアクティビティが表示されます。

各パネルは、アイコンをクリックすることで折りたたんだり、展開したりできます。





WEB APP SETTINGS

Webアプリの設定は、右上の歯車アイコンをクリックするとアクセスできます。



Size: Webページの表示サイズ (60～120%)

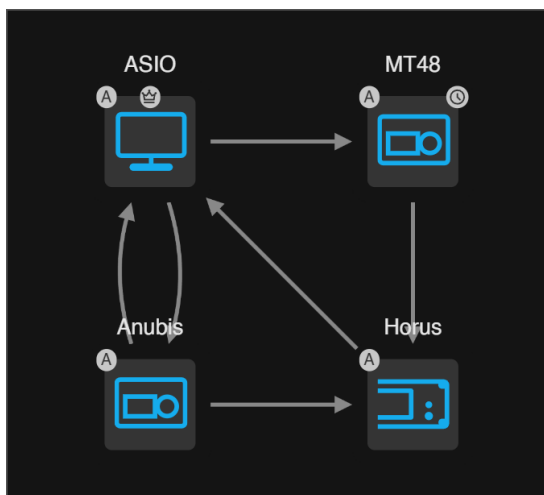
注: この設定はブラウザのズームレベルに加えて適用されます。

Matrix Settings - 垂直IO: 入力または出力。Matrix View で入力または出力を垂直方向に設定します。





THE WORLD VIEW



デバイスは、ネットワーク上で検出され、**Device View** にピン留めされているか、**Zone** に属している場合、WORLD VIEW に表示されます。

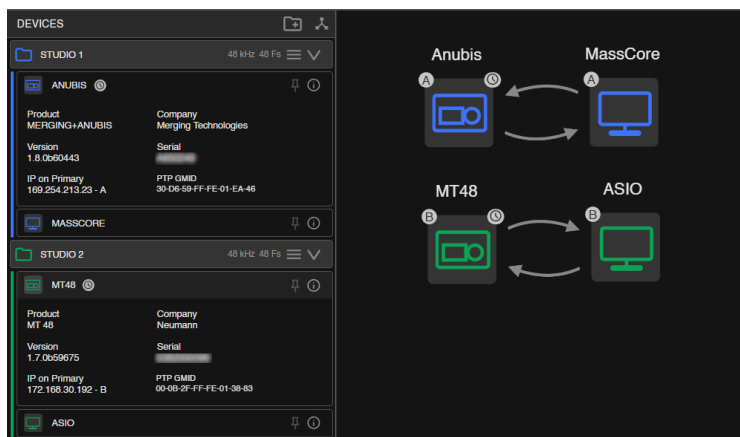
すべてのRAVENNAデバイスはWORLD VIEWに表示されますが、ソフトウェアで完全に制御できるのはサポートされているデバイスのみです。

MOVING

背景をクリックすると、ワールドビューを移動できます。デバイスは左クリックしてドラッグすることで移動でき、ズームはスクロールで行えます。背景をダブルクリックすると、ビューがリセットされ、すべてのデバイスが表示されます。

Ctrlキーを押しながらマウスの左クリックで選択範囲を描画します。

SUBNETS



各デバイスの左上には、サブネットを示す文字が表示されます。異なるサブネットに属するデバイスは通常、相互に接続できません。

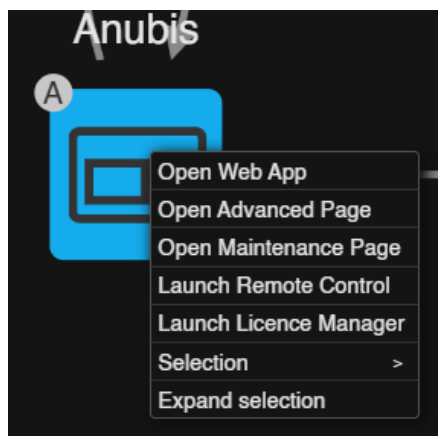
この情報は、デバイスビューのデバイスの情報セクションにも表示されます。





CONTEXTUAL MENU

デバイスを右クリックするとコンテキストメニューが開き、デバイスが公開しているWebサービス(Horusの基本Webページや詳細Webページなど)にアクセスできます。



注意: ANEMANサーバーをホストするコンピュータには、Remote Controller アプリと Merging License Managerがインストールされている必要があります。

デバイスを選択した場合、「選択範囲の展開」をクリックすると、選択範囲に接続されているデバイスが自動的に選択されます。

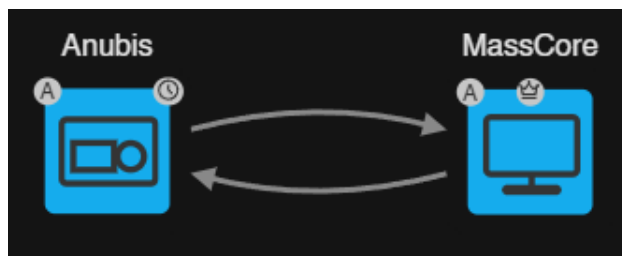
2台以上のデバイスを選択した場合、「選択範囲」>「円/グリッド」をクリックすると、デバイスが視覚的に並べ替えられます。

ZOOM

ビューを拡大するには、スクロールホイールまたはタッチパッドのスクロール機能を使用してください。背景をダブルクリックすると、ビューがリセットされ、すべてのデバイスが表示されます。

CONNECTIONS

デバイス間で接続が確立されると、ワールドビューにリンクが表示されます。このリンクは、すべてが正常な場合は灰色で、接続の1つが切断されている場合は赤色で表示されます。





WORLD VIEW INTERFACES INDICATORS

時計インジケータはPTPマスターが誰であることを示します



クラウンインジケータはゾーンマスターが誰であることを示します



文字インジケータはデバイスのサブネットを示します



黄色のリサイクル インジケータは、デバイスがメンテナンス モードで実行されていることを示します。





THE DEVICES VIEW

DEVICES VIEW は、検出されたデバイスと以前にピン留めされたデバイスをすべて一覧表示するテーブルです。

DEVICES VIEW では、デバイスの並べ替えやゾーンへのグループ化が可能です。

DEVICES VIEW での順序は、MATRIX VIEW に表示されるデバイスの順序を決定します。

デバイスには Bonjour/zeroconf デバイス名に基づいて名前が付けられます。

GENERAL MENU

GENERAL MENU は画面左上隅からアクセスできます。

Refresh: 更新ボタンをクリックすると、すべてのデバイスが再検出され、リストが更新されます。

Save All Connections: 現在表示されているすべてのデバイスの接続状態をプリセットファイルに保存します。

Clear All Connections: ネットワーク上のすべてのデバイスのストリーマーとレシーバーをすべて削除します。このアクションは、設定への反応が悪い可能性のあるデバイスを「クリーンアップ」するために使用できます。

ネットワーク上のすべての接続をクリアするため、このアクションは必ず確認する必要があります。

Save Selected Devices Connections: 選択したデバイス間の接続状態をプリセットファイルに保存します。

Clear Selected Devices Connections: 選択したデバイスのすべてのストリーマーとレシーバーを削除します。このアクションは、設定への反応が悪い可能性のあるデバイスを「クリーンアップ」するために使用できます。

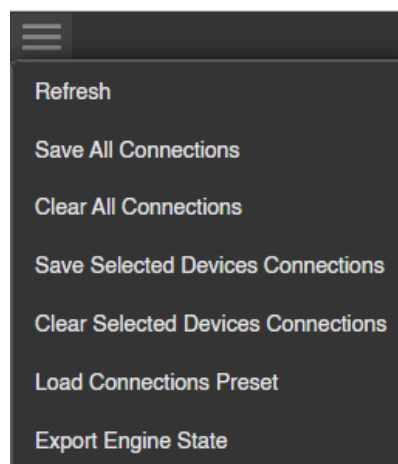
注意: **Clear Selected Devices Connections** は、MERGING ANUBISまたはNEUMANN MT 48の内部接続をクリアしません。

Load Connections Preset: 保存した接続設定は、プリセットの読み込みで呼び出すことができます。

Export Engine State: 現在の ANEMAN の状態を JSON ファイルとしてエクスポートします。バグを発見した場合や、ソフトウェアの動作についてご不明な点がある場合は、生成されたレポートをお送りいただくことで、ソフトウェアの改善にご協力いただけます。

Preset ファイルに関する注意事項

Preset を呼び出しても既存の接続は上書きされません。呼び出しを実行する前に、すべての接続をクリアする必要がある場合があります。





選択したデバイスまたはゾーン内のデバイスのプリセットを保存した場合、プリセットを読み込むと、それらのデバイスにのみ影響します。

プリセットファイルは、

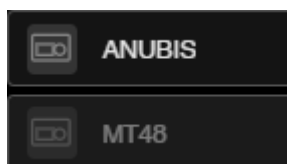
*C:\Users\YourUserName\AppData\Roaming\Merging Technologies\aneman\connections (Windows)
Users>YourUserName>Library>Application Support>Merging Technologies>Aneman>connections
(Mac)*

に保存されます。

ANEMAN サーバーは、サーバーが動作しているコンピューターに保存されているプリセットファイルにのみアクセスできます。



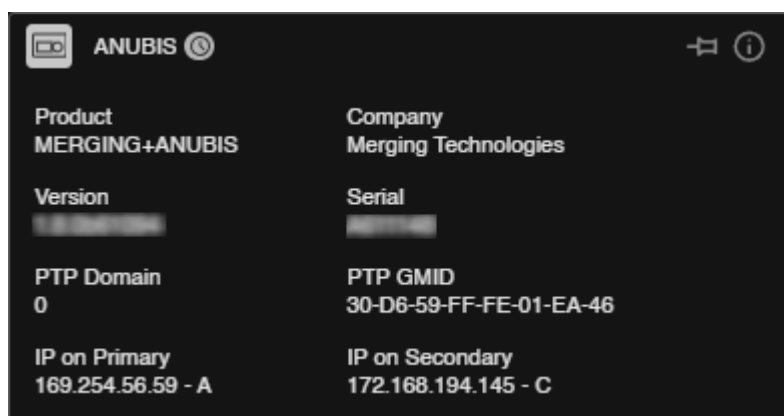
DEVICES



存在する/オンラインのデバイスは白く表示されます。

存在しない/オフラインのデバイスはグレー表示されます(ゴーストデバイス)。

Info ボタンをクリックすると、デバイスの製品名、会社名、ファームウェアバージョン、シリアル番号が表示されます。また、PTPドメイン、PTP GMID、IPアドレス、サブネットインジケータ文字も表示されます。



Pin: ネットワーク上で検出されたデバイスはデバイスリストに配置されます。

デバイスを WORLD VIEW に表示し、オフラインでも表示させたい場合は、Pin アイコンをクリックします。

Pinned Device

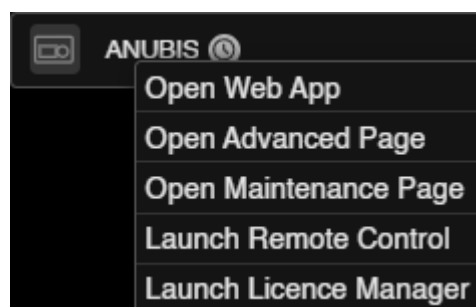


Unpinned Device

オフラインデバイスを削除するには、Pin アイコンをクリックして Pin を解除してください。デバイスは WORLD VIEW からはずすに削除されますが、ブラウザページを更新するまで DEVICE VIEW に表示されます。
注: ZONE 内のデバイスの Pin を解除することはできません。Pin を解除したい場合は、まず ZONE からデバイスを削除してから行ってください。

デバイスのコンテキストメニュー: デバイスを右クリックすると、デバイスのWebアプリ、詳細ページ、メンテナンスページ(デバイスの種類によって異なります)が開きます。

注: ANEMANサーバーをホストするコンピューターには、リモートコントローラーアプリとMerging License Managerがインストールされている必要があります。





DEVICES VIEW INTERFACES INDICATORS



PTP Master アイコン: PTP Master には 時計のアイコンが表示されます。



Zone Master アイコン: Zone Master に設定されたデバイスにはクラウン アイコンが表示されます。



Zone Master missing アイコン: Zone Master に設定されたデバイスがない場合に表示されます。





ZONES



ZONE を使用すると、ネットワーク上のデバイスを場所、機能などによって整理できます。

ZONE は、ZONE 内のすべてのデバイスで特定のサンプルレートやフレームサイズを維持するためにも使用できます。

デバイスは最新の状態にしておく必要があり、デバイスのサンプリングレートの AUTO オプションはオフにする必要があります。



デバイスのトップバーにある New Zone ボタンをクリックすると、新しいゾーンが作成されます。

矢印アイコンでゾーンを折りたたんだり展開したりできます。

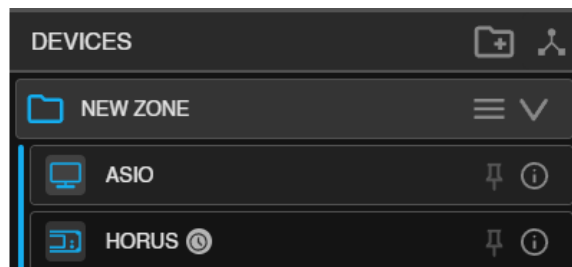
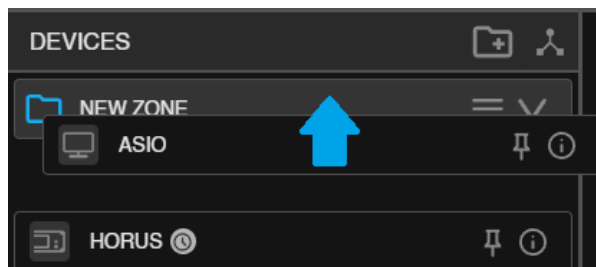


ZONE Master、サンプリングレート、フレームサイズが設定されている場合は、ZONE バーに表示されます。

以前に設定された ZONE Master が見つからない場合、ZONE バーの王冠アイコンはグレー表示されます。



ZONE にデバイスを追加するには、追加するデバイスを ZONE バーにドラッグします (ZONE にデバイスをドラッグしている間、ZONE の色の線が表示されます)。



ZONE からデバイスを削除するには、デバイスを ZONE 外にドラッグします (デバイスを ZONE 外にドラッグしている間、薄い灰色の線が表示されます)。

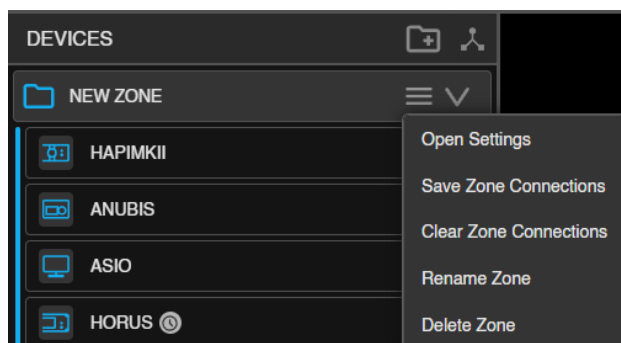
ZONE Settings (下記参照) で、グループ内のデバイスを1台 ZONE Master として選択できます。ZONE 内の他のデバイスはすべてスレーブになります。

- マスターのサンプルレートまたはフレームサイズが変更されると、スレーブもそれに従います。
- スレーブのサンプルレートまたはフレームサイズが変更されると、自動的に Zone のサンプルレートまたはフレームサイズに戻ります。
- Zone Settings では、特定のサンプルレートやフレームサイズも設定できます。Zone 内のすべてのデバイスのサンプルレートまたはフレームサイズが変更されると、自動的に Zone のサンプルレートまたはフレームサイズに戻ります。





THE ZONE MENU



Open Settings: Zone settings を開きます。

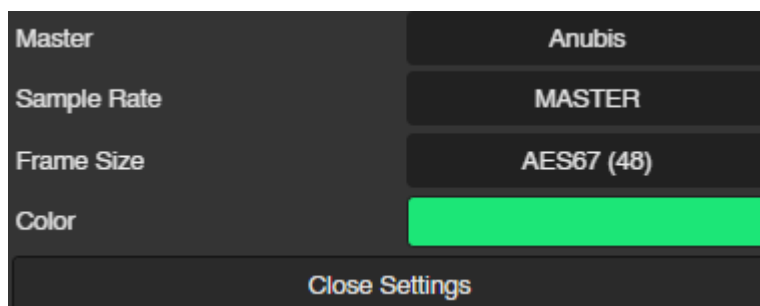
Save Zone Connections: Zone デバイス間の接続状態をプリセット ファイルに保存します。

Clear Connections: Zone内のすべてのデバイスのストリーマーとレシーバーがすべて削除されます。

Rename Zone: Zone の名前を変更します。Zone 名をダブルクリックすることもできます。

Delete Zone: Zone を削除し、デバイスの割り当てを解除します。既存の接続は削除されません。

ZONE SETTINGS



Master: Master デバイスの選択

Sample Rate:

- MASTER デバイスのサンプルレートに従う(MASTER)
- 特定のサンプルレートに設定する
- Zoneのサンプルレートコントロールを無効にする(FREE)

Frame Size:

- MASTER デバイスに従う(MASTER)
- 特定のフレームサイズに設定する
- Zoneのフレームサイズ コントロールを無効にする(FREE)

Color: Zoneとデバイスの色を決めます

注意:



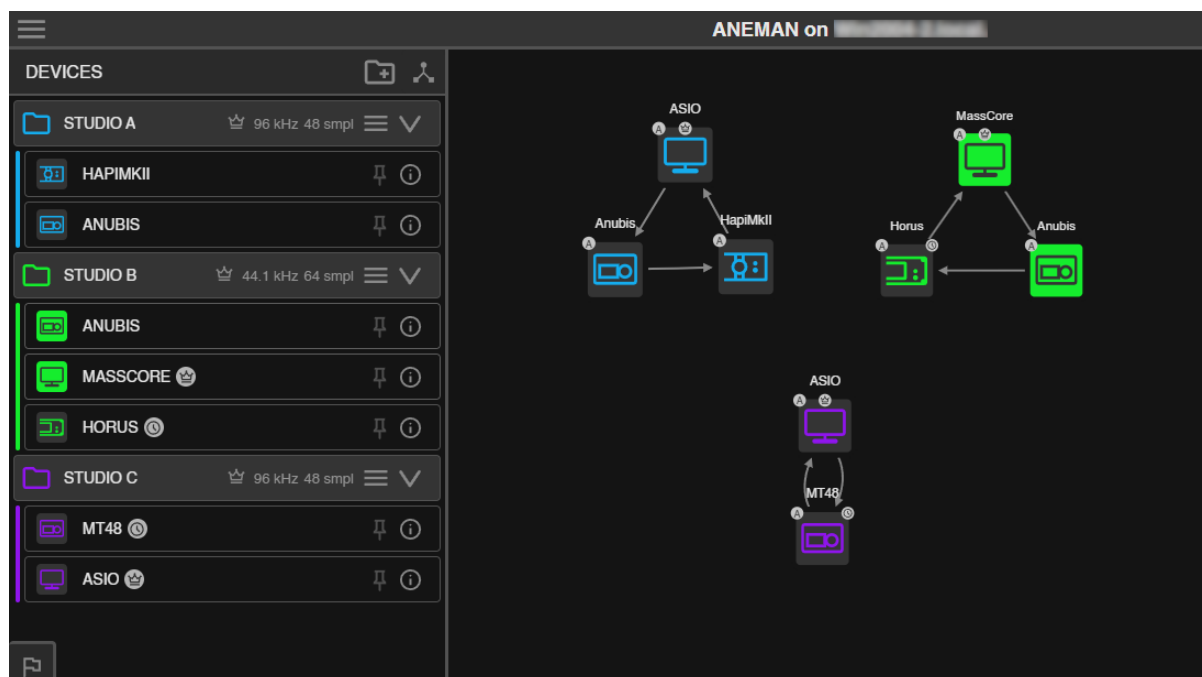


一部のデバイスは、Zone のサンプルレートまたはフレームサイズに対応できない場合があります、必ずしも Master に追従できるとは限りません。

デバイスの Auto サンプルレートオプションも干渉する可能性があります。ANEMANを使用する場合は、Auto オプションを無効にする必要があります。

デバイス(特にASIOなどのソフトウェアデバイス)と設定によっては、小さなフレームサイズ(6、12、16など)を実現するのが困難な場合があります。

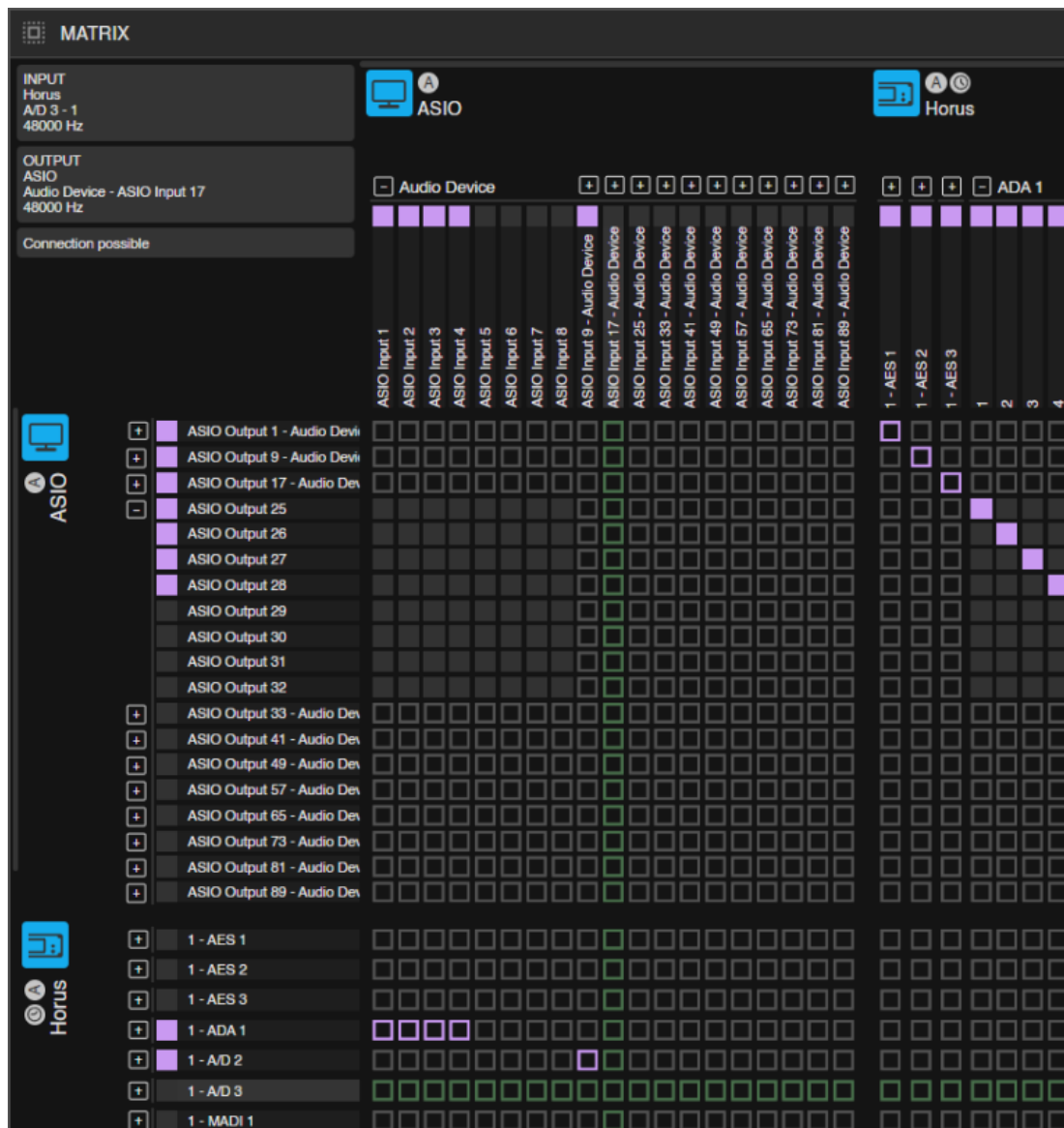
3つの Zone を作成したセットアップ例





THE MATRIX VIEW

MATRIX VIEW には、DEVICE (または WORLD) VIEW で選択されたデバイスが表示されます。



THE INFO BOX

MATRIX VIEW の左上隅には情報ボックスがあり、入力、出力、接続に関するさまざまな情報が表示されます。

MOVING

マトリックス内を移動するには、スクロールバーに加えて、マトリックスの上部 (水平) と左側 (垂直) の領域をドラッグ + クリックするか、マウス ホイールを使用します。





COLLAPSING IOS

入力または出力のグループは、デフォルトでは8つずつ折りたたまれています。+をクリックすると、入力または出力が展開されます。

Shiftキーを押しながら + または - をクリックすると、デバイスのすべての入力または出力が展開または折りたたまれます。

Ctrlキーを押しながら + または - をクリックすると、同じIOタイプのすべての入力または出力が展開または折りたたまれます(例:すべてのMADI 1 IOが折りたたまれます)。

マトリックス内のデバイスのアイコンをクリックすると、デバイスを完全に折りたたむことができます。混在したセル(片側が折りたたまれ、もう片側が展開されている)は、クリックすると自動的に展開されます。

CONTEXTUAL INFORMATION

接続ポイントにマウスオーバーすると、関連する入力、出力、ストリームのステータスまたは実現可能性に関するコンテキスト情報が表示されます。情報ボックスには、接続の可否が表示されます。接続できない場合は、以下の理由が説明されます。

デバイスが同じサブネット上にない場合

デバイスが同じサンプルレートを共有していない場合

デバイスが内部接続をサポートしていない場合

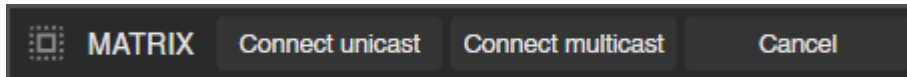
出力が既にストリームを受信している場合





CONNECTION TYPE

AES67/RAVENNAデバイスでは、マルチキャスト接続がデフォルトの接続です。この機能をサポートするデバイスでは、ユニキャスト接続も提案されます。



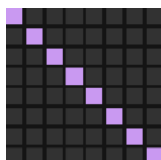
Apply Unicast:

Unicast 伝送／ストリームは、ネットワーク上の単一の受信者にIPパケットを送信します(例: コンソール、DAC、レコーダー／DAW間のマルチチャンネルストリーム)。送信側と受信側の間でポイントツーポイント接続を使用します。受信側を追加するごとに個別のストリーマーが追加されるため、Unicast ストリームが追加されるたびにネットワークトラフィックが増加します(Horus/Hapiファームウェア3.9.3b38957以降が必要です)。



Apply Multicast:

Multicast 伝送は、ネットワーク上のホストグループにIPパケットを送信します(例: ジャーナリストのデスクトップへの番組ストリーム)。送信側では、ストリーマは1つだけです。ネットワークスイッチは、どの参加者(受信側)が特定の Multicast を受信するべきかを認識し、登録されたノードにのみパケットを転送します。Multicast 構成では、ネットワークトラフィックはネットワークパスの最終セグメント(受信側ノードに最も近いセグメント)でのみ増加します。



Unicast vs. Multicast





ADDING AND REMOVING CONNECTIONS

マトリックスセルをクリックすると、保留中の接続を追加するか、既存の接続を削除します。

追加または削除された接続は、「**apply multicast/unicast**」をクリックするとデバイスに一括送信され、接続コマンドがネットワークに送信されます。「**Cancel**」をクリックすると、現在のルーティングをリセットできます。

折りたたまれたセル(折りたたまれた入力と出力)をクリックすると、折りたたまれたサブマトリックスの8つの対角セルすべてで接続が自動的に作成または削除されます。

COLOR CODING OF CONNECTION POINTS

紫色の接続ポイントは 正常な multicast 接続を示します。

パステルブルーの接続ポイントは「正常」な unicast 接続を示します。

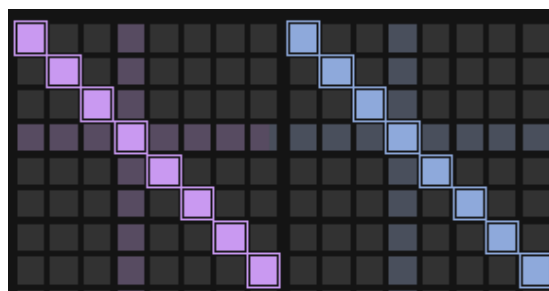
黄色の接続ポイントは未完了の接続を示します。

緑と赤の接続ポイントはそれぞれ、追加または削除が必要な接続を示します。

ライトグレーの接続ポイントは、デバイスの内部ルーティングを示します。

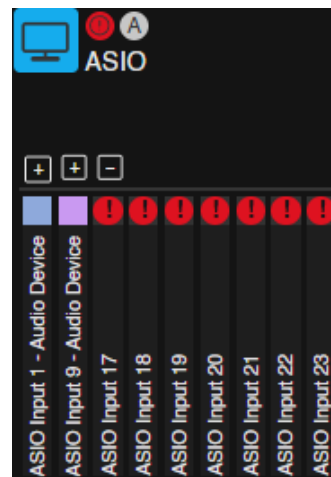
STREAMS

接続ポイントにマウスを移動すると、ユーザーは接続に関連付けられたストリームを視覚化できます。同じストリームに属するすべての接続が四角形になります。



CONNECTION STATUS AND ERROR MESSAGES

接続が不完全な場合、マトリックスセルと最上段が赤色で表示されます。「ネットワークステータス」タブには、問題の解決に役立つエラーコードとメッセージが表示されます。最上段の赤い点をクリックすると、自動的に Network Status タブが開き、関連するエラーが表示されます。



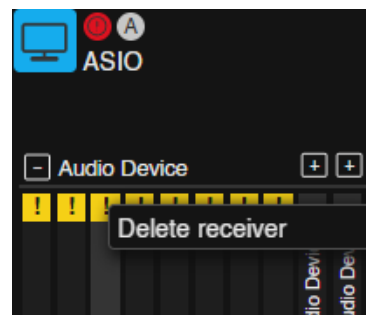


OUTPUT STATUS AND RECEIVER DELETE

ストリーマーが接続されていないデバイスにレシーバーが接続されている場合があります。出力の状態 (busy または note) はマトリックスで簡単に確認できます。この出力を右クリックすると、必要に応じて接続されているレシーバーを削除できます。

レシーバーを削除する際は常に慎重に行い、接続を削除することを優先してください。

紫または青の四角形が表示されている出力は、レシーバーがストリームを受信して接続されていることを意味し、黄色の四角形はエラーを示します。



MANAGING EXISTING STREAMS

マトリックスの送信側にある各モジュールのインジケータでストリームを管理できます。通常通り、紫色/青色は問題がないこと、赤色は少なくとも1つのストリームにエラーがあることを示します。

いずれかのモジュールを右クリックすると、デバイスからストリームを削除できるメニューが表示されます。LTC および Video Refストリーマーは削除できません。

ストリームを削除する際は、接続を削除することを優先し、常に慎重に行ってください。

NEUMANN MT 48 LIMITATION

USB接続されたNeumann MT 48 ではANEMANでは使用できません。RAVENNA/AES67ネットワークで使用するには、AES67/RJ45 コネクタで接続してください。

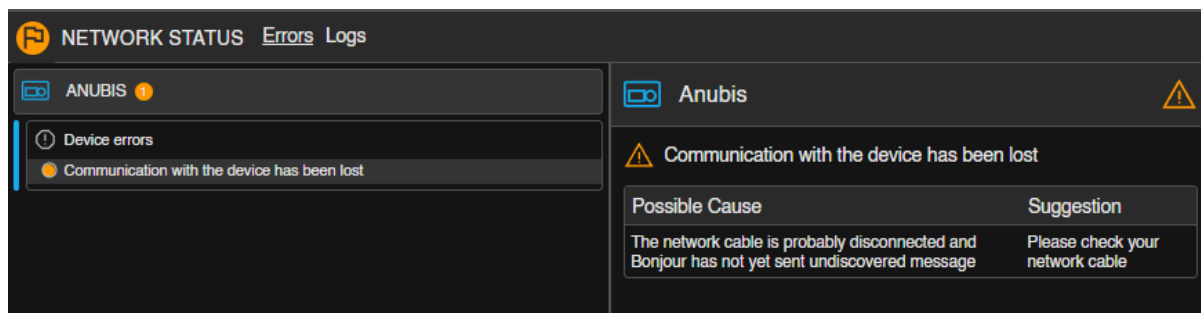




THE NETWORK STATUS

THE ERRORS TAB

ERRORS タブには、エラーや警告だけでなく、問題に関するヒントや解決方法の提案も表示されます。



デバイス、ストリーマー(ソース)、レシーバー(シンク)について、エラーと警告が報告されます。

一部のエラーはデバイスによって報告されるため、エラーが報告されるかどうかはメーカーによって異なります。

Merging Technologies デバイスはすべて、ANEMAN へのエラー報告をサポートしています (Horus, Hapi, Hapi MKII, Hapi MKIII, MERGING ANUBIS, NEUMANN MT 48)。

エラーを確認するには、WORLD VIEW または MATRIX VIEW で赤いドットのエラーをクリックすると、関連するエラーのネットワークステータスタブが自動的に開きます。

ANEMAN はエラーの内容と考えられる原因、そして問題の解決方法のヒントを表示します。

エラーは修正されるまで表示され、エラーが再び発生した場合は ANEMAN が報告します。問題が解決されれば、ANEMAN はエラーを報告しなくなります。

注意: エラーを正しく報告させるには、デバイスを最新のファームウェアにアップデートしておく必要があります。

THE LOGS TAB

ANEMAN アクティビティとデバイスから報告されたメッセージはこのタブに記録されます。このタブはデバッグに使用できます。





ADVANCED OPERATIONS

DANTE/AES67 AND SAP

ANEMAN はネットワーク上の Dante/AES67 ストリームを検出し、DEVICE VIEW にスタンドアロン デバイスとして表示します。これらのデバイスには、ANEMAN 対応デバイスに接続される入力のみが表示されます。つまり、ANEMAN はリバース Dante コントローラーとして機能します (Dante コントローラーが AES67 ストリームを検出し、Dante デバイスに接続します)。ANEMAN を使用した完全な Dante/AES67 混合セットアップを行う場合は、Dante コントローラーを使用する必要があります。

このようなデバイスで ANEMAN を検出して使用するには、SAP プラグインが必須です。エージェント設定でプラグインが有効になっていることを確認してください。

SAP デバイスは、汎用の AES67 アイコンで表示されます。



制限事項: 常に 8 チャンネルのストリームを接続します。既存の接続にチャンネルを追加することはできません。まず接続を削除してから、8 チャンネルを再接続してください。

LIMITATIONS

接続を適用する際には、以下の制限事項が適用されます。

接続には、デバイスのサンプリングレートが同じで、同じ IP サブネット上にある必要があります。

フレームサイズが一致しないと、一部のデバイスは接続を受け入れない場合があります。

一部のデバイスでは、同じデバイス (Horus、Hapi 1 など) の入力から出力への接続は受け入れられません。

デバイスメニューからデバイス設定を呼び出すと、ストリーマーとレシーバーも呼び出されます。ANEMAN を使用して接続を呼び出す際は、デバイスをクリーニングすることを忘れないでください。

USB 接続された Neumann MT 48 は ANEMAN では使用できません。接続できません。RAVENNA / AES67 ネットワークで使用するには、Neumann MT 48 を AES67 / RJ45 コネクタで接続してください。





ADVANCED ANEMAN SERVER CONFIGURATION

設定に応じて、ANEMAN サーバーは特定のモードで実行する必要があります。ANEMAN サーバーは、実行中のコンピューターに現在接続されているデバイスのみを検出します。

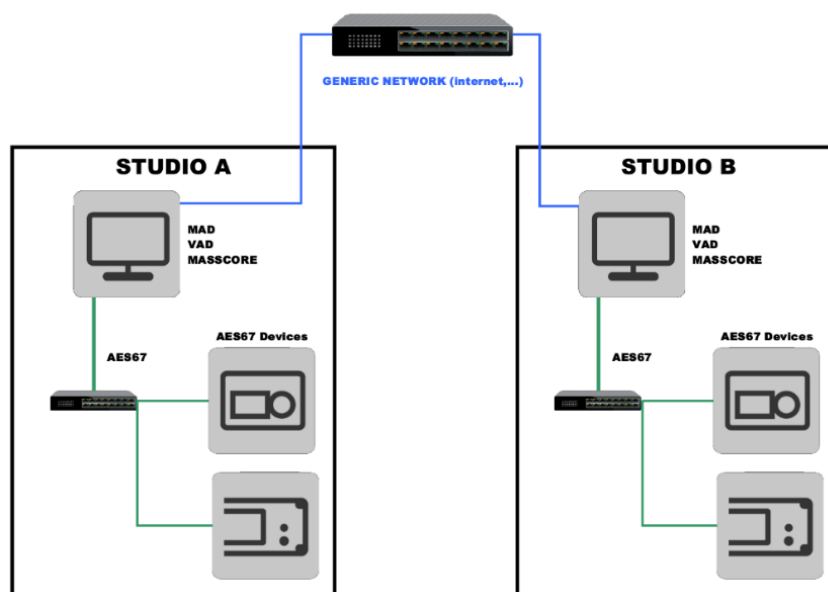
ANEMAN エージェントが起動すると、利用可能なすべてのネットワークインターフェース (Wi-Fi を含む) を介して、実行中の ANEMAN サーバーを検索します。

サーバーが見つからない場合、エージェントがハイブリッドモードまたはマスターモードに設定されていれば、ANEMAN サーバーが起動されます。

サーバーが見つかった場合、エージェントがハイブリッドモードまたはスレーブモードに設定されていれば、そのサーバーに接続します。

エージェントがマスターとして構成されている場合、常にサーバーを起動します。別のサーバーが既に存在し、ハイブリッドとして構成されている場合は、そのサーバーは無効になり、新しいマスターに接続されます。

TWO STUDIOS WITH INDEPENDENT AES67 NETWORKS AND DEVICES



このような場合、スタジオAとスタジオBの両方でANEMANサーバーをマスターに設定することをお勧めします。これは、各スタジオが相互に接続されていないプライベートAES67ネットワークを持っているためです。

また、Aneman設定の検出フィルターをAES67 AOIPネットワークのみに設定し、汎用/インターネットネットワークを削除する必要があります。

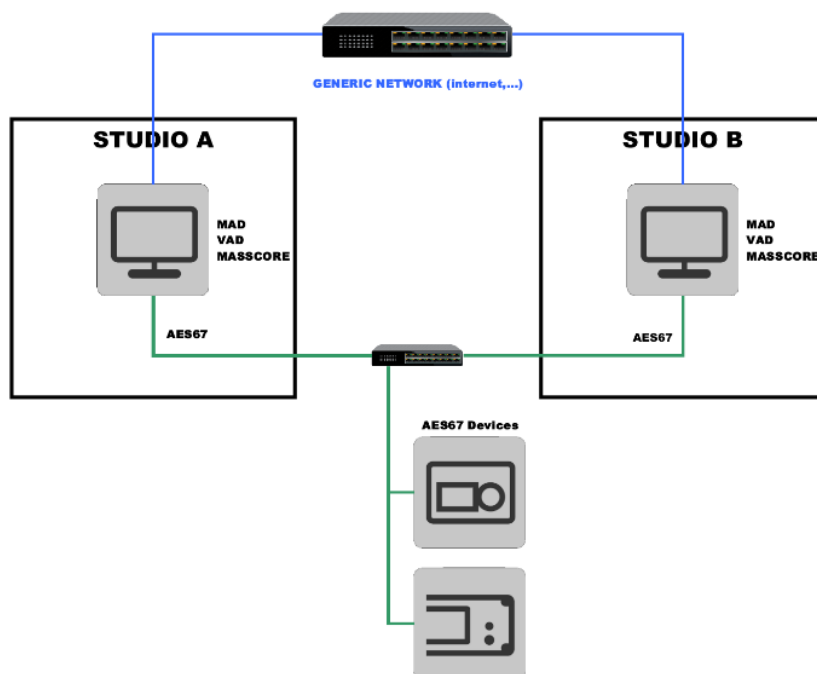
ハイブリッドに設定すると、ANEMANサーバー (例: スタジオA) をホストするコンピューターは自身のAES67デバイスを検出し、2台目のコンピューターはANEMANサーバーをホストするコンピューターに接続されたデバイスのみを認識します。この例では、スタジオBはスタジオAのデバイスを認識しますが、スタジオB自身のデバイスは認識しません。





サーバーをマスター - スレーブまたはマスター - ハイブリッドに設定した場合も、同じ問題が発生します。

TWO STUDIOS SHARING COMMON AES67 NETWORK AND DEVICES.



両方のコンピューターが同じAES67ネットワークに接続されているため、どのコンピューターでもANEMANサーバーをホストできます。そのため、両方をハイブリッドモードに設定することをお勧めします。

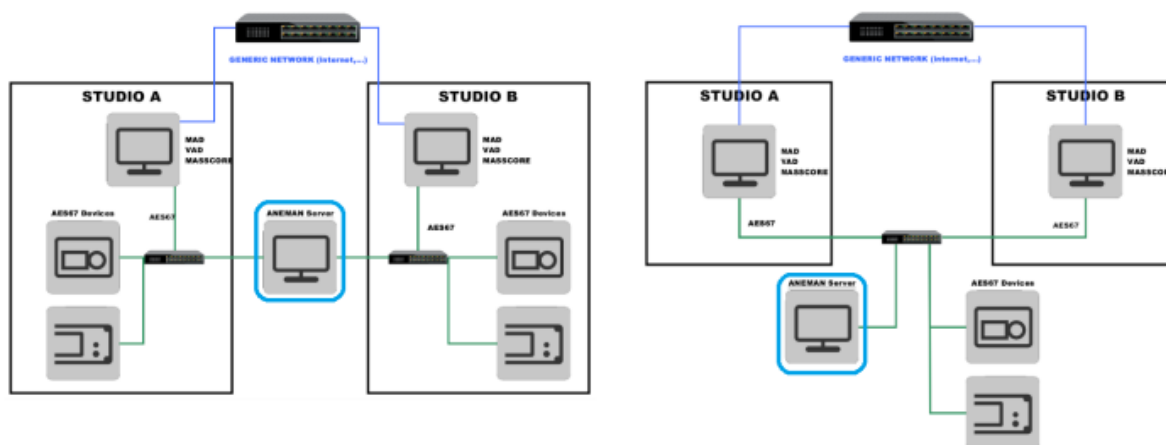
ANEMANサーバーを起動した最初のコンピューターがホストとなり、そのコンピューターが停止した場合は、2台目のコンピューターが自動的にANEMANサーバーを起動します。

サーバーをマスター/スレーブに設定することもできますが、マスターが存在しないか停止した場合、スレーブはANEMANサーバーを起動しません。





SINGLE ANEMAN SERVER TO CONTROL SEVERAL STUDIOS



専用コンピュータに1台のANEMANサーバーを設置する場合は、AES67ネットワークに接続する必要があります。

マスターコンピュータをマスターに設定し、他のコンピュータをスレーブに設定する必要があります。

マスターコンピュータは、休止状態やスリープなどの電源管理機能を無効にして、常時稼働するように設定する必要があります。





DISCOVERY FILTERS

DISCOVERY FILTER では、ANEMANがデバイス検出に使用できるネットワークインターフェースを選択できます。

Wi-Fiはデバイスの検出には使用できません。

この設定は、ANEMANサーバーをホストしているコンピューターでのみ有効です。

PLUGINS

MANAGING PLUGINS.

ANEMAN には、エージェントメニューの Settings からアクセスできるプラグインマネージャーが組み込まれています。

Plug-ins Filters セクションには、現在インストールされているプラグインのステータスが表示されます。

disco_bonjour, proxy_merging, prox_masscore, proxy_zman, proxy_bach はデフォルトで有効になっており、無効にしないでください。

directout と disco_SAP はインストールされていますが、デフォルトで無効になっています。

プラグインを有効化または無効化した後は、ANEMAN エージェントを終了して再起動する必要があります。

注意: Stagetech Nexus および Archwave uNet プラグインはオンデマンドでのみ利用可能です。
aneman@merging.com までお問い合わせください。

Plug-ins Filter:	
☐ directOut.dll	DirectOut devices proxy
☒ disco_bonjour.dll	Default Device discovery via Bonjour
☒ proxy_bach.dll	Ross Bach based devices proxy
☒ proxy_merging.dll	Merging generic proxy (Merging HORUS, HAPI Mki, NADAC, MassCore, MAD, VAD and more
☒ proxy_o_masscore.dll	Merging legacy proxy for MassCore
☒ proxy_zman.dll	Merging ZMAN based devices proxy (Merging Anubis/HAPI & Neumann MT48)

REMOVING PLUG-INS

plug-ins を除去するには、plug のディレクトリからファイルを消してください。

Windows: C:\ProgramData\Merging Technologies\Aneman\plugins

MacOs: /Applications/Aneman_Agent/Contents/Plugins/Plugins





FILES PATH REFERENCES

Logs files

Windows: C:\Users\YourUserName\AppData\Roaming\Merging Technologies\aneman\logs

Mac: Users>YourUserName>Library>Application Support>Merging Technologies>Aneman>Logs

Zones Configuration (Storage)

Windows: C:\Users\YourUserName\AppData\Roaming\Merging Technologies\aneman\storage

Mac: Users>YourUserName>Library>Application Support>Merging Technologies>Aneman> Storage

Agent Settings

Windows: C:\Users\YourUserName\AppData\Roaming\Merging Technologies\aneman\config.json

Mac: Users>YourUserName>Library>Application Support>AnemanAgent>Settings.ini

Presets Path

Windows: C:\Users\YourUserName\AppData\Roaming\Merging Technologies\aneman\ connections

Mac: Users>YourUserName>Library>Application Support>Merging Technologies>Aneman>
Connections

Plugins Path

Windows: C:\ProgramData\Merging Technologies\Aneman\Plugins

Mac: Applications>Aneman_Agent>Contents>Plugins>Plugins





CONFIGURATION FILE

Anemanエージェント設定ファイルconfig.jsonは、主にデバッグ目的で使用されるパラメータを追加するためにも使用できます。

config.jsonファイルを変更した後は、アプリケーションを再起動する必要があります。

注意: 以前のバージョンのaneman.configファイルとは互換性がありません。

```
{
  "logs", "rotation_file_size", /*5MB=*/5242880)
  The max size of log files in disc. If the specific size is reached, the file is trimmed on top.
  "logs", "reset": true | false
  If true, logs will be deleted when ANEMAN is started in order to create new ones (def: false)
  "BreakStreamsForOptimize": "yes" | "no"
  Allow to del/recreate stream for optimization (def: no)
  "discovery", "manual_only": true | false
  Only manual discovery (def: false) "logs", "proxyInstanceCallback": true | false
  Debug only (def: false)
}
```

これらのオプションを試す場合は、Mergingのサポートに確認してください。

